

猪名川自然環境委員会の経緯等

<目次>

1. 猪名川自然環境委員会及び構造検討部会の経緯	1
2. 猪名川自然環境委員会における議題の変遷	2
3. 議事要旨集	7
(1) 第31回猪名川自然環境委員会(令和4年1月27日)	7
(2) 第24回猪名川自然環境委員会 構造検討部会(令和3年12月9日)	8

1. 猪名川自然環境委員会及び構造検討部会の経緯

「猪名川自然環境委員会」(H16.1～)

- 委員会は、猪名川流域における自然環境の整備と保全について、河川管理者に対して、必要な指導・助言を行うことを目的とする。(委員会規約第2条)

(五十音順、敬称略)

猪名川自然環境委員会 委員(第32回予定)・構造検討部会 委員(第25回)

氏名	所属等	対象分野	委員会	部会
川崎 雅史	京都大学大学院 地球環境学 都市基盤デザイン論 教授	景観デザイン	○	
竹門 康弘	京都大学防災研究所 水資源環境研究センター 准教授	応用生態工学	○	○
田中 哲夫	元兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授	魚類生態学	○	○
服部 保	兵庫県立大学 名誉教授	植物生態学	○	○
松井 正文	京都大学 名誉教授	動物系統分類学	○	
村上 興正	元京都大学大学院 理学研究科 講師	動物生態学	○	○※部会長
森下 郁子	一般社団法人淡水生物研究所 所長	比較河川学	○※委員長	

構造検討部会

開催日	構造検討部会
H17. 5. 26	第1回部会
H17. 8. 10	第2回部会
H17. 12. 3	第3回部会
H18. 12. 5	第4回部会
H21. 3. 12	第5回部会
H21. 12. 4	第6回部会
H22. 3. 11	第7回部会
H22. 10. 22	第8回部会
H23. 2. 25	第9回部会
H23. 8. 11	第10回部会
H24. 2. 2	第11回部会
H24. 8. 14	第12回部会
H25. 1. 31	第13回部会
H25. 3. 9	第14回部会
H25. 8. 13	第15回部会
H27. 3. 11	第16回部会
H27. 10. 5	第17回部会
H28. 10. 26	第18回部会
H29. 9. 19	第19回部会
H30. 1. 18	第20回部会
H31. 10. 17	第21回部会
R 1. 10. 9	第22回部会
R 2. 12. 9	第23回部会
R 3. 12. 9	第24回部会
R 4. 10. 28	第25回部会

猪名川自然環境委員会

開催日	検討会
H16. 1. 15	第1回委員会
H16. 3. 9	第2回委員会
H16. 10. 19	第3回委員会
H17. 3. 22	第4回委員会
H17. 9. 7	第5回委員会
H17. 12. 14	第6回委員会
H18. 3. 29	第7回委員会
H18. 3. 8	第8回委員会
H19. 9. 12	第9回委員会
H19. 9. 12	第10回委員会
H20. 2. 26	第11回委員会
H20. 3. 28	第12回委員会
H20. 10. 16	第13回委員会
H21. 3. 22	第14回委員会
H21. 12. 11	第15回委員会
H22. 3. 18	第16回委員会
H22. 12. 8	第17回委員会
H23. 3. 11	第18回委員会
H23. 10. 21	第19回委員会
H24. 2. 23	第20回委員会
H24. 10. 31	第21回委員会
H25. 3. 26	第22回委員会
H25. 10. 9	第23回委員会
H26. 11. 6	第24回委員会
H28. 2. 8	第25回委員会
H29. 2. 10	第26回委員会
H30. 2. 9	第27回委員会
H31. 2. 13	第28回委員会
R 2. 2. 6	第29回委員会
R 3. 1. 25	第30回委員会
R4. 1. 27	第31回委員会
R5. 1. 27	第32回委員会

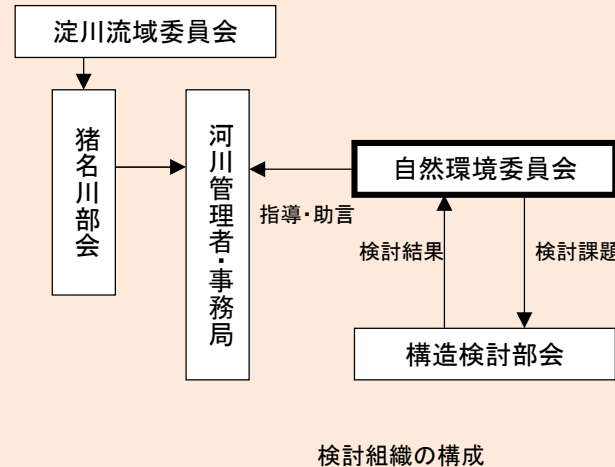
「猪名川自然環境委員会 構造検討部会」(H17.5～)

- 猪名川で実施される個別の事業において求められる環境面での配慮事項、河川環境に関わる縦断形や横断形等河川構造に関する事項、あるいは猪名川で自然再生を行うために実施すべき事業の内容等について審議するために、猪名川自然環境委員会の内部組織として構造検討部会を設置する。

【構造検討部会での検討項目】

構造検討部会では、猪名川自然環境委員会での審議内容を受け、次のような事項について検討する。

- ① 河川環境にかかわる縦断形や横断形等河川構造に関する事項
- ② 河道整備に関わる自然環境に関する事項
- ③ 工事实施に関わる自然環境に関する事項
- ④ 猪名川直轄区間占用申請物件の設置・改築等の自然環境に関する事項
- ⑤ その他猪名川自然環境委員会で委員長が指定した事項



環境に関する検討課題・検討方針を審議すると共に、検討結果を統括し河川管理者に指導・助言を行う。

実施事業固有の課題等について対策を検討する。

検討組織の構成

(出典:猪名川自然環境委員会 第1回構造検討部会 議事概要)

工事予定箇所の現地確認

開催日	現地確認
H22. 1. 26	平成21年度(1)
H22. 2. 8	平成21年度(2)
H22. 3. 4	平成21年度(3)
H24. 8. 14	平成24年度(1)
H25. 3. 9	平成24年度(2)
H25. 10. 8	平成25年度(1)
H25. 12. 18	平成25年度(2)
H27. 10. 21	平成27年度
H28. 9. 30	平成28年度
H29. 7. 3	平成29年度
H30. 8. 27	平成30年度
R 1. 7. 10	令和元年度
R 2. 12. 9	令和2年度
R 3. 12. 9	令和3年度
R 4. 10. 24	令和4年度

2. 猪名川自然環境委員会における議題の変遷(1/5)

これまでの委員会(猪名川自然環境委員会、構造検討部会、現地確認)の主な議題

年度	本委員会		構造検討部会		現地確認	
	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題
H15	第1回 (H16.1.15)	・猪名川自然環境委員会の設立趣旨について ・猪名川自然環境委員会規約(案)について ・委員長選出	-	-	-	-
	第2回 (H16.3.9)	・最近の取り組みについて(外来種対策としてのアレチウリの刈り取りとその後の追跡調査状況、一庫ダム下流河川環境復元へ向けての対策、河道内樹木調査結果について(猪名川・藻川分派点付近の状況)) ・当面の調査検討について(調査検討のプライオリティについて、モニタリング調査計画について) ・現地視察に参加できなかった委員への猪名川の現状に関する説明について	-	-	-	-
H16	第3回 (H16.10.19)	・猪名川の河川環境に関する目標について ・治水防災に関する工事の実施について	-	-	-	-
	第4回 (H17.3.22)	・構造検討部会の設置について ・土砂動態検討会の開催報告	-	-	-	-
H17	第5回 (H17.9.7)	・第1回構造検討部会での審議について ・淀川水系流域委員会の報告(ダムの検討結果)について ・第2回構造検討部会での審議について ・今後のスケジュールについて ・河道掘削による河川環境への影響検討について ・試験施工について ・総合土砂管理委員会の設立について	第1回 (H17.5.26)	・構造検討部会の位置づけについて(報告) ・構造検討部会での検討項目について(報告) ・銀橋開削に伴う河床掘削の河川環境へ与える影響について(審議) ・検討会実施フローとスケジュール(案)について(審議) ・本年度実施工事に係る環境調査について(審議)	-	-
	第6回 (H17.12.14)	・自然再生事業試験施工について ・河川環境の現況把握に関する資料整理(中間とりまとめ) ・本年度実施事業に係る環境調査について ・猪名川外来種生育状況調査について	第2回 (H17.8.10)	・第1回構造部会での意見・課題整理について ・今後の検討スケジュールについて ・河道掘削の考え方について ・河道掘削による河川環境への影響について ●河川環境の現況把握について ●河道掘削による環境への影響について ●今後の調査、検討の進め方について	-	-
	第7回 (H18.3.29)	・環境目標設定について ・自然再生事業試験施工について ・土砂動態の検討状況について ・平成17年度工事実施箇所環境調査結果について ・善法寺地区におけるチガヤ移植の実施について ・出水後環境調査結果について	第3回 (H17.12.3)	・自然再生事業試験施工について	-	-
H18	第8回 (H18.12.17)	・河原再生試験施工について ・土砂動態の検討状況について ・平成18年度実施工事環境調査結果について ・善法寺地区におけるチガヤの移植試験について ・横断構造物の影響調査について	第4回 (H18.12.5)	・河原再生試験施工について ・土砂動態検討の状況報告	-	-
	第9回 (H19.3.8)	・自然再生試験施工モニタリング計画について ・猪名川の河川環境の現況について(報告) ・チガヤ移植試験結果について(報告)	-	-	-	-
H19	第10回 (H19.9.12)	・平成19年度委員会の検討方針および概要とスケジュールについて ・今年度の調査について(報告)	-	-	-	-
	第11回 (H20.2.26)	・環境目標の検討について【審議】 ・H19年度試験施工モニタリングについて【報告】 ・伐木計画について【報告】	-	-	-	-
	第12回 (H20.3.28)	・各種モニタリング調査等について	-	-	-	-

H15、H21、H22:
外来種対策(アレチウリ)

H16、H18、H19:
猪名川の河川環境
に関する目標

H17:構造検討部会の設置、
総合土砂管理委員会の設置

H17~H24:
自然再生試験施工
の検討(河原環境再生)

H17、H18、H20、H23:
総合土砂管理委員会の報告

2. 猪名川自然環境委員会における議題の変遷(2/5)

これまでの委員会(猪名川自然環境委員会、構造検討部会、現地確認)の主な議題

年度	本委員会		構造検討部会		現地確認	
	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題
H20	第13回 (H20.10.16)	・自然再生計画について ・工事施工箇所の環境調査について ・各種調査の中間報告	—	—	—	—
	第14回 (H21.3.22)	・前回委員会の議事概要と今後の対応について ・部会等報告 ①構造部会の報告(平成21年度工事予定箇所の環境調査について、河原再生試験施工について) ②土砂委員会の報告(平成21年度モニタリングについて)	第5回 (H21.3.12)	・猪名川のモニタリングについて(自然再生事業を例として) ・平成21年度工事(予定)に関する環境調査について ・試験施工モニタリングに関わる環境調査について ・大井井堰(藻川)魚道設置状況について	—	—
H21	第15回 (H21.12.11)	・平成21年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ・河川縦断方向の連続性回復計画について ・外来種対策について ・河原再生試験施工モニタリング調査(中間報告)	第6回 (H21.12.4)	・平成21年度工事予定箇所の環境への影響について(現時点での追加工事) ・平成21年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ・河川縦断方向の連続性回復計画について	H21年度(1) (H22.1.26)	【川西・池田地区築堤・護岸他整備工事のうち、旧池田井堰工事(魚道の設置)】
	—	—	—	—	H21年度(2) (H22.2.8)	【北伊丹レキ河原再生工事】
	第16回 (H22.3.18)	・前回委員会議事概要について ・構造部会の報告 ①平成22年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ②猪名川魚がのぼりやすい川づくりマスタープラン(簡易魚道の検討) ・外来種対策について	第7回 (H22.3.11)	・平成22年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ・大井井堰簡易魚道のモニタリングについて ・猪名川魚がのぼりやすい川づくりマスタープラン(簡易魚道の検討) ・平成21年度工事箇所の現地視察報告(報告)	H21年度(3) (H22.3.4)	【川西・池田地区築堤・護岸他整備工事のうち、旧池田井堰工事(魚道の設置)】
H22	第17回 (H22.12.8)	・外来植物対策マニュアル案について ・構造部会の報告 ①平成22年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ②三ヶ井井堰簡易魚道の検討について ・モニタリング調査について(中間報告)	第8回 (H22.10.22)	・三ヶ井井堰簡易魚道の検討 ・平成22年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ①第7回構造検討部会での指摘事項について ②新規報告工事 ・大井井堰簡易魚道のモニタリング結果(中間報告) (報告)平成21年度工事箇所の現地視察報告	—	—
	第18回 (H23.3.11)	・工事箇所モニタリング調査について ・河原再生試験施工地モニタリング調査について ・平成23年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ・外来植物対策マニュアル案について	第9回 (H23.2.25)	・平成23年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ・工事箇所モニタリング調査について	—	—
H23	第19回 (H23.10.21)	・構造検討部会の報告 ①平成23年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ②簡易魚道について ・河原再生試験施工地モニタリング調査について ・北伊丹レキ河原再生工事モニタリング調査について ・椎堂河道掘削工事調査結果について ・魚道の遡上について	第10回 (H23.8.11)	・平成23年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ・簡易魚道の検討について	—	—
	第20回 (H24.2.23)	・平成24年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ・平成24年度工事箇所モニタリング調査計画について ・平成23年度工事前調査結果報告について ・平成22年度工事後調査結果報告について ・第10回猪名川総合土砂管理委員会報告	第11回 (H24.2.2)	・平成24年度工事予定箇所の河川環境への影響評価と対策について ・平成24年度工事箇所モニタリング調査計画について 平成22年度工事後調査結果報告について	—	—

H21~H23:
工事予定箇所の環境への
配慮(現地確認等を実施)

H21、H22、H23、H26~:
簡易魚道に関する検討・調査

2. 猪名川自然環境委員会における議題の変遷(3/5)

これまでの委員会(猪名川自然環境委員会、構造検討部会、現地確認)の主な議題

年度	本委員会		構造検討部会		現地確認	
	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題
H24	—	—	第12回 (H24.8.14)	・平成24年度工事予定箇所への影響と対策について ・平成24年度自然再生箇所等のモニタリング調査計画について	H24年度(1) (H24.8.14)	【第12回構造検討部会 現地視察】 ・戸ノ川橋(猪名川左岸0.8k付近)(戸ノ内地区河道浚渫工事) ・利倉橋(猪名川右岸2.8k付近)(利倉地区他河道掘削工事) ・猪名川・藻川分派点(藻川分派地区河道掘削工事・伐木(藻川3.8k~4.5k)) ・最明寺川合流点高水敷(猪名川右岸9.6k付近) (猪名川大橋地区礫河原再生工事・久代北台井堰簡易魚道設置工事) ・猪名川左岸10.4k付近堤防天端(池田床固簡易魚道設置工事)
	第21回 (H24.10.31)	・平成24年度工事予定箇所への影響と対策について ・平成24年度自然再生箇所等のモニタリング調査について	第13回 (H25.1.31)	・河原再生試験施工に関するとりまとめ ・平成25年度工事予定箇所への影響と対策	—	—
	第22回 (H25.3.26)	・第21回自然環境委員会・第11回総合土砂管理委員会での指摘とその対応 ・北河原地区河原再生試験施工に関するとりまとめ ・平成25年度工事予定箇所への影響と対策	第14回 (H25.3.9)	・平成25年度工事予定箇所の現地指導とりまとめ ・北河原地区河原再生試験施工に関するとりまとめ	H24年度(2) (H25.3.9)	【第14回構造検討部会 現地指導】 ・高木井堰周辺(東久代地区河道掘削他工事(低水路掘削部分)) ・箕面川合流点付近(北伊丹地区他河道掘削他工事) ・右岸6.6k付近堤防天端(北河原地区河道掘削工事) ・呉服橋周辺(川西・池田地区河道掘削工事(下流部)) ・加茂井堰周辺(川西・池田地区河道掘削工事(上流部))
H25	—	—	第15回 (H25.8.13)	・平成25年度工事予定箇所の自然環境への配慮事項	—	—
	第23回 (H25.10.9)	・第22回自然環境委員会および第15回構造検討部会の議事概要の確認 ・事業実施にあたっての自然環境への配慮事項 ・台風18号出水について	—	—	H25年度(1) (H25.10.8)	【ヒメボタル調査に関する現地指導】 ・ヒメボタル幼虫調査の調査計画 ・チガヤ群落の調査内容 ・(場所)北伊丹地区河道掘削他工事現地(左岸7.3k 付近)
	—	—	—	—	H25年度(2) (H25.12.18)	【簡易魚道等の構造・調査に関する現地指導】 ・池田床固の修復旧および魚道計画 ・簡易魚道モニタリング調査結果 ・ヒメボタル調査結果(中間報告) ・(場所)池田床固、高木井堰、三ヶ井井堰、北伊丹地区河道掘削他工事現地
H26	第24回 (H26.11.6)	・平成24・25年度の工事実施状況および環境調査結果について ・魚道およびヒメボタルのモニタリング調査について ・水質の現況と改善の取り組みについて	第16回 (H27.3.11)	・河川整備計画の進捗状況について ・ヒメボタル幼虫等の調査結果について ・河道掘削モニタリング計画(案)について ・河道内樹木の伐採について	—	—
H27	第25回 (H28.2.8)	・河道掘削モニタリング計画(案) ・簡易魚道モニタリング計画(案) ・平成27年度工事箇所の環境面からの評価 ・平成28年度の工事予定	第17回 (H27.10.5)	・河道掘削工事に関する自然環境委員会の指摘と対応 ・河道掘削モニタリング計画(案) ・簡易魚道・ヒメボタル保全地のモニタリング調査 ・平成27年度工事予定箇所の環境配慮	H27年度 (H27.10.21)	【平成27年度工事予定箇所に関する現地確認】 ・猪名川右岸6.2k付近(藤ノ木地区低水護岸他補修工事) ・猪名川右岸7.4~7.8k付近(下河原地区他河道掘削他工事(猪名川7.4k付近)、下河原地区他河道掘削他工事(猪名川左岸7.6k付近)、池田地区河道掘削他工事(猪名川7.8k付近)) ・猪名川右岸8.2~8.4k付近(下河原地区他河道掘削他工事(猪名川8.2~8.3k付近)、池田地区河道掘削他工事(猪名川右岸8.4k付近)) ・猪名川右岸10.4~11.0k付近(池田地区河道掘削他工事)
H28	第26回 (H29.2.10)	・規約について ・猪名川自然環境委員会の経緯及び主な論点の整理 ・河道掘削モニタリング調査結果 ・簡易魚道モニタリング調査結果 ・平成28年度工事箇所の環境面からの評価 ・平成29年度の工事予定	第18回 (H28.10.26)	・猪名川自然環境委員会の経緯及び主な論点の整理(構造検討部会に係る事項) ・平成28年度の工事予定箇所の工事概要 ・平成28年度河道掘削モニタリング調査結果(中間報告) ・平成28年度簡易魚道モニタリング調査結果(中間報告)	H28年度 (H28.9.30)	【平成28年度工事予定箇所に関する現地確認】 ・猪名川右岸0.8k~1.1k付近(戸ノ内地区掘削工事) ・藻川左岸3.2k~3.4k付近(田能地区災害復旧工事) ・猪名川左岸7.2k付近(中村地区堤防拡幅工事) ・猪名川右岸0.8k~1.2k付近(東園田地区堤防強化工事) ・猪名川左岸3.4k~3.6k付近(危機管理型ハード対策(堤防防尻補強)) ・猪名川右岸8.2k~8.4k付近(河道内樹木伐採) ・猪名川左岸8.4k~8.8k付近(河道内樹木伐採)

H24~:
工事予定箇所の現地確認・環境面からの評価・対応を継続的に実施

H27: 河道掘削モニタリング計画、簡易魚道モニタリング計画を作成し、計画に基づき評価を実施

2. 猪名川自然環境委員会における議題の変遷(4/5)

これまでの委員会(猪名川自然環境委員会、構造検討部会、現地確認)の主な議題

年度	本委員会		構造検討部会		現地確認	
	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題
H29	—	—	第19回 (H29.9.18)	<ul style="list-style-type: none"> 猪名川自然環境委員会の経緯及び主な論点の整理 平成29年度の工事予定箇所的環境面からの評価(案) 猪名川・藻川の河道及び河川環境の特性 平成29年度河道掘削モニタリング調査結果(中間報告) 平成29年度簡易魚道モニタリング調査結果(中間報告) 	H29年度 (H29.7.3)	<ul style="list-style-type: none"> 【平成29年度工事予定箇所の工事概要及び環境調査結果】 小中島地区護岸補修工事 小中島地区護岸補修(その2)工事 (仮)東園田地区遮水矢板工事 (仮)今在家地区遮水矢板工事 (仮)利倉地区河道掘削工事・(仮)岩屋地区河道掘削工事 北伊丹地区礫河原再生工事 戸内地区他堤防強化他工事 【平成30年度工事予定箇所の工事概要及び環境調査結果】 桑津橋地区礫河原再生工事 (仮)木部地区河道掘削工事・(仮)小戸地区河道掘削工事 (仮)利倉地区遮水矢板工事 (仮)額田地区法尻補強工事 (仮)東園田防災拠点整備工事 (仮)東園田橋梁取付工事 (仮)原田西地区カメラ設置工事・(仮)天津東ノロ地区カメラ設置工事 (仮)桑津地区カメラ設置工事
	第27回 (H30.2.9)	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度 猪名川自然環境委員会構造検討部会の報告 平成29年度工事箇所の環境面からの配慮 河道掘削モニタリングのとりまとめと今後の方向性 簡易魚道モニタリングのとりまとめと今後の方向性 その他 	第20回 (H30.1.18)	<ul style="list-style-type: none"> 第19回 猪名川自然環境委員会構造検討部会の指摘と対応 河道掘削モニタリングのとりまとめと今後の方向性 簡易魚道モニタリングのとりまとめと今後の方向性 平成29年度工事箇所の環境面からの評価 	—	—
H30	第28回 (H31.2.13)	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度 猪名川自然環境委員会 構想検討部会で得られた結果と課題 平成30年度工事箇所の環境面からの配慮 河川水辺の国勢調査の活用による環境影響モニタリング調査マニュアル(仮称)(案) 平成30年度河道掘削モニタリング調査結果 平成30年度簡易魚道モニタリング調査結果 	第21回 (H30.10.17)	<ul style="list-style-type: none"> 猪名川自然環境委員会の経緯及び主な論点の整理 平成30年度工事予定箇所の環境面からの評価(案) 河川水辺の国勢調査の活用による環境影響モニタリング調査マニュアル(仮称)(案) 平成30年度河道掘削モニタリング調査結果(中間報告) 平成30年度簡易魚道モニタリング調査結果(中間報告) 	H30年度 (H30.8.27)	<ul style="list-style-type: none"> 猪名川左岸2.8k付近利倉橋下部工事 猪名川3.6k~4.2k付近、左岸6.0k~6.2k付近原田西地区他掘削他工事 猪名川右岸6.4k~6.6k付近北河原地区災害復旧工事 猪名川右岸2.8k付近(仮)利倉橋下部工事 猪名川左岸6.0k~6.4k付近(仮)桑津橋地区礫河原再生工事
	R1 (R2.2.6)	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度工事箇所の環境面からの評価 河原環境の再生の評価 河川縦断方向の連続性回復に関する取り組みの結果 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案) 	第22回 (R1.10.9)	<ul style="list-style-type: none"> 猪名川自然環境委員会の経緯及び主な論点の整理 令和元年度工事予定箇所の環境面からの評価(案) 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案) 令和元年度河道掘削モニタリング調査結果(中間報告) 河川縦断連続性回復に関する総括と今後の方策(案) 	R1年度 (R1.7.10)	<ul style="list-style-type: none"> 猪名川左岸2.6k~12.6k猪名川管内樹木伐採工事 猪名川左岸2.8k~3.2k付近利倉地区河道掘削工事 猪名川左岸5.4k~6.0k付近、藻川4.2k~森本地区他河道掘削他工事 猪名川右岸9.2k~9.4k付近(仮)猪名川大橋地区河原環境再生工事
					R1年度 (R1.9.20)	<ul style="list-style-type: none"> 【ヒメボタルへ配慮した樹木伐採についての有識者・NPOとの現地確認】 3.4k右岸(猪名川公園前) 6.8k~7.3k左岸(中村・下河原)

H29:
河川水辺の国勢調査を活用したモニタリングを進めていくことを報告

H29:
猪名川・藻川の河道及び環境特性を整理

H30~:
河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案)の作成に着手

R1:
河川縦断方向の連続性回復に関する総括と今後の方策(案)を報告

R1:
ヒメボタル幼虫の生息に配慮した樹木伐採方法を検討

2. 猪名川自然環境委員会における議題の変遷(5/5)

これまでの委員会(猪名川自然環境委員会、構造検討部会、現地確認)の主な議題

R2:
猪名川自然再生
事業 河原環境の
再生事業の完了
に伴う総括(案)を
報告

R3:
インパクト-レスポ
ンスの観点から工
事後等の河道の
状態把握の手法
を提案

年度	本委員会		構造検討部会		現地確認	
	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題	名称(開催日)	議題
R2	第30回 (R3.1.25)	<ul style="list-style-type: none"> 令和2度工事予定箇所環境面からの評価 猪名川自然再生事業 河原環境の再生の評価 「令和3年度両生類・爬虫類・哺乳類調査」における河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案) 	第23回 (R2.12.9)	<ul style="list-style-type: none"> 令和2度工事予定箇所環境面からの評価(案) 河原環境の再生の評価(暫定) 「令和3年度両生類・爬虫類・哺乳類調査」における河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案) 	R2年度 (R2.12.9)	<ul style="list-style-type: none"> 猪名川12.2k~10.2k付近、猪名川樹木伐採工事(猪名川森本地区他河道他掘削他工事の中で実施) 猪名川右岸9.2k~9.4k付近、猪名川大橋地区河原環境再生工事(猪名川森本地区他河道他掘削他工事の中で実施)
R3	第31回 (R4.1.27)	<ul style="list-style-type: none"> 工事箇所の環境面からの評価 過去の委員会指摘事項のフォローアップ 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案) 	第24回 (R3.12.9)	<ul style="list-style-type: none"> 工事箇所の環境面からの評価(案) 過去の委員会指摘事項のフォローアップ 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案) 	R3年度 (R3.12.9)	<ul style="list-style-type: none"> 猪名川5.2k~6.0k+100m、河道掘削工事 猪名川左岸7.2k~7.4k、樹木伐採工事(猪名川森本地区他河道掘削他工事の中で実施) 猪名川5.6k~6.0k付近、河道掘削工事(猪名川河道掘削事業)※次期整備計画対応
R4	第32回 (R5.1.27)	<ul style="list-style-type: none"> 工事箇所の環境面からの評価 猪名川自然再生事業等のフォローアップ 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案) 	第25回 (R4.10.28)	<ul style="list-style-type: none"> 工事箇所の環境面からの評価(案) 猪名川自然再生事業等のフォローアップ 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案) 	R4年度 (R4.10.24)	<ul style="list-style-type: none"> 猪名川0.6k付近~0.8k付近(猪名川河道掘削事業) 猪名川12.2k+150m~2.6k+50m、3.2k+150m~3.8k+50m(猪名川東園田地区他河道掘削他工事(河道掘削)) 藻川1.0k~4.4k(猪名川東園田地区他河道掘削他工事(樹木伐採))
					(R4.11.17、R4.11.30) ※現地指導	<ul style="list-style-type: none"> 猪名川12.2k+150m~2.6k+50m(猪名川東園田地区他河道掘削他工事(河道掘削))

3. 議事要旨集

(1) 第31回猪名川自然環境委員会 (令和4年1月27日)

第 31 回 猪名川自然環境委員会 議事要旨

1. 日 時 令和4年1月27日(木) 13.00～15.00
2. 場 所 ウェブ会議
3. 出席者 委員：川崎委員、菅原委員、竹門委員、田中委員、服部委員、松井委員、村上委員、森下委員(委員長)
猪名川河川事務所：佐渡事務所長、北野副所長
山口総括保全対策官、酒井建設専門官、田中保全対策官
(工務課)永野工務課長、土山専門官、田中維持係長、西村工務係長
庶務：いであ株式会社 兵藤、佐中、高地、養田、野元、山本
4. 議 事 (1) 工事箇所環境面からの評価
(2) 過去の委員会指摘事項のフォローアップ
(3) 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案)
5. 結 果
(1) 工事箇所環境面からの評価
(猪名川河道掘削)
 - ・ 淀川水系河川整備計画の変更に伴う河道掘削においては、できる限り水陸移行帯が保全できるように環境配慮をしていただきたい。
 - ・ シルビアシジミやセスジイトトンボ等が確認されており、「移動性が高い種のため工事による影響は小さいと考えられる」と記載されているが、例えば、食草となるミヤコグサの有無など丁寧に記載していただきたい。**(樹木伐採)**
 - ・ 樹木伐採における用語として、低木管理ではなくて低林管理と修正していただきたい。
 - ・ ヤナギや他の種の樹木伐採は、除根で対応することで問題ない。しかし、猪名川 7.2k～7.4k 左岸のハリエンジュ(ニセアカシア)については、当該箇所ヒメボタルが生息していることから伐採のみで十分である(除根はしない方がよい)。**(ハリエンジュの環状剥皮による巻き枯らしの効果(モニタリング))**
 - ・ 環状剥皮後に癒合した場合には、再度環状剥皮を行い剥皮状態の維持を図っているが、枯死に至る場合の状況を把握するため、その記録も示していただきたい。**(樹木伐採の基本方針)**
 - ・ 樹木伐木の基本方針について考えていく必要がある。**(2) 過去の委員会指摘事項のフォローアップ
(工事出来高の記録及び河道の状態把握手法)**
 - ・ 今回提示された資料により、猪名川において河川環境管理を行うための情報が整備されたと考えられている。河原・水陸移行帯の再生が成功しているのは土砂の移動が生じている場所であり、攪乱

により新たな河原・水陸移行帯が形成されている。提示された情報を用いることで河原・水陸移行帯の再生のためのポテンシャルが分かるようになったことは大きな成果である。

- ・ 60口冠水の変化についてとりまとめているが、冠水域による攪乱は、在来種の生息・生育やアレチウリ等の外来種の侵入抑制に対して重要である。

(今後の工事における河川環境配慮)

- ・ ワンド・たまりの保全においては、止水環境の改変を避けるというだけでなく、ワンド・たまりが形成されやすい仕掛けを作ることが重要である。今回提示された資料に対して、ワンド・たまりや瀬の形成や消失のデータを合わせて見ることで工事における環境配慮の方針が見えてくると考えられる。
- ・ 今後の工事における河川環境配慮は、社会経済性や河川が有する自然の営力も含めて効率的に行うという観点も必要である。
- ・ 河原・水陸移行帯について、物理環境としては再生できているが、生物環境(陸上植物)としては再生できておらず、このままでは再生しないと考えられる。猪名川では殆どの河原系植物が絶滅しているため、僅かに自生しているカワラナデシコを増殖して移植するなど次の段階に入らないと生物環境としての再生は難しいと感じる。

(オギ移植のフォローアップ)

- ・ 猪名川大橋地区のオギ移植が成功したことは良いことである。これまでは成功事例が殆どなかったことから、成功した理由を分析していただきたい。移植先の表土を根茎も含めて削いだ上で、純粋なオギ群落を移植したことが成功した理由の一つと考えられる。

(3) 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案)

(調査結果とりまとめの補足)

- ・ 縦断連続性に関する指標種が4種に限定されているが、テナガエビやモクズガニなどの種を定めるのではなく、テナガエビ科にいただきたい。合わせてマメエビ科も指標種に入れていただきたい。
- ・ 「止水性魚類等」や「止水性」の表現について、指標種の多くは止水域を一時的に利用するものの流水性の種であるため、再考していただきたい。

(考察・評価の補足)

- ・ 猪名川・瀬川の下流区間の淡水魚類の多様性は、氾濫原の一時的水域や一時的水域と河川間の水路が重要な役割を果たしている。また、汽水域(感潮区間)や干潟等の環境も重要であることから、これらの区間の生息場所の拡大につながる魚類層に着目して考察・評価を行っていただきたい。

以上

3. 議事要旨集

(2) 第25回猪名川自然環境委員会 構造検討部会 (令和4年10月28日)(1/2)

第25回 猪名川自然環境委員会 構造検討部会 議事要旨

1. 日 時 令和4年10月28日(金) 10:00~12:00

2. 場 所 国土交通省 近畿地方整備局 猪名川河川事務所 2階会議室

3. 出席者 委員：竹門委員、田中委員、服部委員、村上部会長(部会長)
猪名川河川事務所：佐渡所長(欠席)、星原副所長
山口総括保全対策官、酒井建設専門官、中山保全対策官(欠席)
(工務課)山崎工務課長(代理：西村工務係長)、土山専門官
(園田出張所)鈴木所長
庶務：いであ株式会社 兵藤、佐中、高地、養田、永谷、渡辺

4. 議 事 (1) 工事箇所的環境面からの評価(案)
(2) 猪名川自然再生事業等のフォローアップ
(3) 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案)

5. 結 果

(1) 工事箇所の環境面からの評価(案)

1) 藻川東園田地区堤防強化他工事【①】(東園田地区：堤防拡幅工)

(評価結果)

- ・ C評価→B評価に変更する(チガヤへの環境配慮)。

(チガヤへの環境配慮の方法)

- ・ チガヤは猪名川では貴重な種であるため、取り置きして工事後に戻す対応をしていただきたい。
- ・ チガヤを取り出す際には、戻した後に雑草が混入しないようチガヤのみを取り出すことが重要である。高水敷等に取り置いて冬を越し、工事後、休眠期が終わる前に戻せばよい。取り置き場所は、日向、日陰どちらでもよい。
- ・ 服部委員の現地指導を受けて進めるとよい。

2) 猪名川東園田地区他河道掘削他工事【②】(東園田地区：河道掘削)

(評価結果)

- ・ A評価とする。令和4年度工事についてもB評価→A評価に変更する。
- (猪名川2.2k+150m~2.6k+50m区間の汽水域の河道掘削における環境配慮)
- ・ 感潮区間の干潟・浅場環境は生物にとって非常に重要であるため、干潟・浅場環境を保全していただきたい。
 - ・ 河道掘削により感潮区間が変化するため、この場所で保全できない場合は、変化した先の場所で干潟・浅場環境を創出していただきたい。
 - ・ 猪名川でヨシ群落がまとまって成立する限られた場所であるため、ヨシ群落を保全していただきたい。オギ群落やツルヨシ群落は上流でも確認されるが、ヨシ群落は干潟・浅場環境のある本箇所のみである。大きい面積で保全することができない場合は、小さい面積でもよい。河道掘削

により感潮区間が変化するため、新たな場に創出することでもよい。

- ・ 竹門委員、服部委員の現地指導を受けて進めるとよい。

(猪名川3.4k+100m~3.8k+100m区間の河道掘削における環境配慮)

- ・ ヒメボタルは、生息範囲が広く全てに配慮することはできないため、生息密度が高いところに特に留意して配慮していくことでよいのではないかと。陸生であり堤内地にも生息しているが、河川内での配慮も必要である。

3) 猪名川東園田地区他河道掘削他工事【②】(藻川地区：伐木・伐採(除根あり))

(評価結果)

- ・ B評価とする。

(ゴキヅルの保全措置)

- ・ ゴキヅルは兵庫県レッドリストのCランクであるため、保全措置を行う必要がある。1年草で根が枯死するため、種を取って保存し、伐採後に種をまく措置でよい。

4) 猪名川河道掘削事業【③】(戸ノ内他地区：河道掘削)

(評価結果)

- ・ B評価とする。ただし、豆島を活用した干潟・浅場環境の創出については別途検討する。

(河道掘削における干潟・浅場環境への環境配慮)

- ・ 猪名川・藻川の合流地点では、治水上の制約も踏まえ、河積を変えない範囲で干潟・浅場環境を創出していただきたい。本箇所断面に余裕があれば三角州の先端の豆島付近に掘削土砂を置いて干潟・浅場環境を創出するなど工夫をしていただきたい。
- ・ 河道縦断的に汽水域から淡水域に移行する範囲では、砂州やワンド、緩傾斜のエコトーンができる場を作っていただきたい。モクズガニ等の繁殖に必要な要件として底質環境が重要である。砂地に石が乗っている状況が重要であり、岸沿いをそのような構造にしていきたい。

5) その他工事

猪名川東園田地区他河道掘削他工事【②】

(東園田地区：堤防拡幅嵩上げ、上止々呂美地区・下止々呂美地区：根継工・ふとんかご工(護岸復旧))

島の内水害に強いプロジェクト【④】(東園田地区：橋梁接続)

(評価結果)

- ・ C評価とする。

(2) 猪名川自然再生事業等のフォローアップ

(河原・水陸移行帯の再生)

- ・ 河原・水陸移行帯の再生は全体的には効果が出ておりうまくいっている。
- ・ 水陸移行帯の面積や分布のフォローアップに使用するデータは、実測結果を用いた方がよい。平面二次元流況解析のデータは荒いため、予測に使用するのには評価には適さない。

(縦断連続性の回復(魚道))

- ・ アユ等の潜在的な分布域を示したうえで、生活史や移動経路を踏まえて考察することはできない。

いか。

- 遡上数の経年変化をみると、ウキゴリは平成28年以降に三ヶ井井堰を遡上できておらず、テナガエビ科は平成30年以降に遡上が減少している。指標種ごとに個別に状況を確認し、調査年による流況や調査時期の違いなどから経年変化の原因を考察する必要がある。
- 横断工作物の改修の際は、本格的な魚道を全面的に設置していただきたい。取水堰堤を斜め方向に設置する等のしかけを作ることも効果的である。

(オギ移植)

- オギの移植箇所には混入がみられるセイタカアワダチソウなどの外来種は、人力で除去するのが望ましい。

(3) 河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案)

(用語の修正)

- 群落は植物にのみ使用する表現であるため「湿地群落」は「湿地」に修正する。

(調査対象環境区分(湿地)の選定方法)

- 調査対象環境区分(湿地)の選定の方法について補足事項(案)に記載する必要がある。

以上